

## ロジスティクス環境会議

### 共通基盤整備委員会 第16回委員会 議事録

I. 日 時：2005年11月18日（金） 13:00～14:30

II. 会 場：(社)日本ロジスティクスシステム協会 会議室

III. 出席者：10名

#### IV. 議 案：

1. 環境報告書ガイドライン作成について
2. 用語解説集について

#### V. 議 事

津久井委員長の司会進行のもと、以下のとおり議事が行われた。

##### 1. 環境報告書ガイドライン作成について

環境報告書の物流項目に関する記載事項の調査集計について、事務局よりデータ集計結果について説明がされた。

また、当初ガイドラインの作成を予定していたが、環境報告書の実態調査になっているので、「環境報告書作成ガイドライン」を改めて検討したいとの提案がなされた。

なお、目次構成案については、下村副委員長よりご提案いただいた。

##### 1) 委員意見

- ・ 業種別で背景が異なるので、業種別のデータのまとめ方をしないと意味がないのでは？
- ・ メーカーは輸送を外部委託しているので、包装を記載しているところ傾向が高い。
- ・ 環境報告書の中において、物流子会社としての活動を記載しているところが多い。
- ・ メーカーは生産が中心で、輸送は外部に委託しているので、実際に物流に関する記載をすることが難しい。
- ・ 改正省エネ法では、CO<sub>2</sub>のメーカーの排出責任があるため、記載内容の検討は必要であると思われる。
- ・ 保管・荷役は生産という見方のケースが多い。
- ・ アウトソーシングしている荷主企業が輸送についても注目すべきであるという提言になるのでは。

##### 2) 今後の進め方

- ・ 良い事例を取り上げる
- ・ 選定方法案（資料1）
- ・ 項目チェックが多く、CO<sub>2</sub>算出のパフォーマンスにチェックがついているところをピックアップし、次回委員会にて該当ページをコピーし、配布する。
- ・ 良い事例の他、環境に良い事例を取り上げても良い。
- ・ データ加工については、業種別にする。

## 2. アウトプット

活動報告書の目次構成案について事務局より説明がなされた（参考資料2）

## 3. 第2回グリーンロジスティクス講習会

開催要領（案）について、事務局よりプログラム案が出された。

省エネ法については引き続き開催して欲しいという要望が強く、次回もプログラムに入れる。  
CGLメンバー限定で、参加者80名程度を予定、参加料は無料とする。

## 4. 用語

18語を更新（新規15語、修正3語）し、11月25日までにホームページへ掲載する。

## 5. 次回研究会

西濃運輸の秋山氏、1月は日本総合研究所 下村副委員長にご発表いただくことが確認された。

## 6. 次回委員会について

第17回共通基盤整備委員会は下記のとおり開催する。

日 時：12月16日（金）13：30～15：00

会 場：(社)日本ロジスティクスシステム協会 会議室

以上の議事をもって、閉会となった。